

# 党県議・市議が我孫子の高濃度汚染灰保管施設を視察

2013/1/20「しんぶん赤旗」首都圏版より

しんぶん 赤 旗

共産党が視察した高濃度汚染焼却灰保管施設



## 千葉県北西部の党議員

### 高濃度汚染灰保管施設を視察

住民「長期化が不安」

反対運動が起きています。

られ、沖繩などで実績があるといえます。ただ鉄骨にテント地を張っただけなので、不安を拭いきれません。

千葉県北西部で高濃度の放射能に汚染された焼却灰の処分をめぐって、日本共産党の丸山慎一、加藤英雄の両県議と、柏、流山、松戸各市の市議らが、18日、印西・我孫子両市にまたがる「一時保管施設」を視察しました。

調査団が訪れたときは松戸市の焼却灰を搬入中で、監視する住民が搬入トラック周辺を線量計で計測していました。保管庫は縦30m、横15mで15棟つくることと、県が一時保管するもの。ただ、最終処分場は国がつくることになっていますが、候補地も決められず、「ここが長期化する」との不安から近隣住民の

反対運動が起きています。調査団が訪れたときは松戸市の焼却灰を搬入中で、監視する住民が搬入トラック周辺を線量計で計測していました。保管庫は縦30m、横15mで15棟つくることと、県が一時保管するもの。ただ、最終処分場は国がつくることになっていますが、候補地も決められず、「ここが長期化する」との不安から近隣住民の反対運動が起きています。

伊藤余一郎市議のスケッチ

